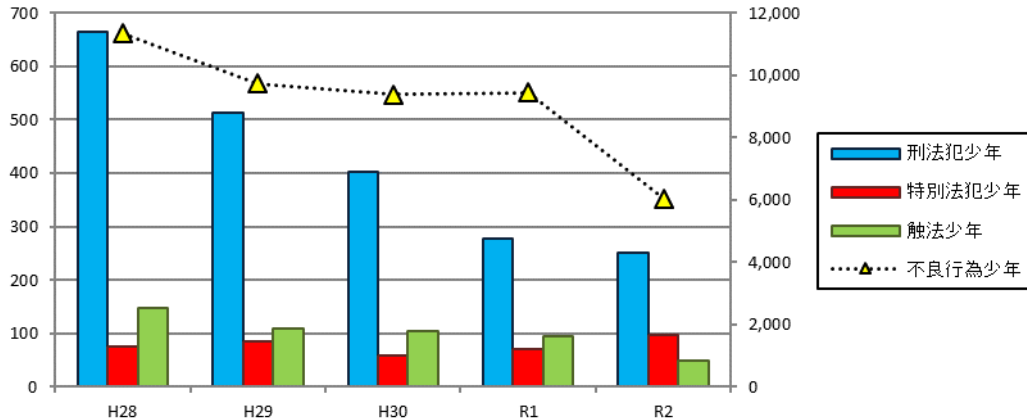


1 少年非行の情勢

- 刑法犯少年は251人、前年と比較して27人（-9.7%）**減少**
- 特別法犯少年は97人、前年と比較して26人（+36.6%）**増加**
- 触法少年は50人、前年と比較して46人（-47.9%）**減少**
- 不良行為少年は6,043人、前年と比較して3,412人（-36.1%）**減少**



	H28	H29	H30	R1	R2	増減数	
						増減数	増減率
刑法犯少年	664	513	402	278	251	-27	-9.7%
特別法犯少年	75	85	60	71	97	26	36.6%
触法少年	147	109	105	96	50	-46	-47.9%
不良行為少年	11,338	9,731	9,391	9,455	6,043	-3,412	-36.1%

- ・ 刑法犯少年・・・犯罪行為をした14歳以上20歳未満の者のうち、刑法犯で検挙された少年
- ・ 特別法犯少年・・・犯罪行為をした14歳以上20歳未満の者のうち、特別法犯で検挙された少年
- ・ 触法少年・・・刑罰法令に触れる行為をした14歳未満の少年
- ・ 不良行為少年・・・深夜はいかい、喫煙等で補導された少年

2 刑法犯少年

(1) 罪種別検挙状況

- 凶悪犯の検挙は14人で、前年と比較して5人（+55.6%）**増加**
- 粗暴犯の検挙は57人で、前年と比較して3人（+5.6%）**増加**
- 窃盗犯の検挙は138人で、刑法犯少年全体の55.0%、前年と比較して13人（-8.6%）**減少**

	H28	H29	H30	R1	R2	増減数	
						増減数	増減率
刑法犯少年	664	513	402	278	251	-27	-9.7%
凶悪犯	16	11	6	9	14	5	55.6%
粗暴犯	118	85	83	54	57	3	5.6%
窃盗犯	384	269	225	151	138	-13	-8.6%
知能犯	18	33	34	9	6	-3	-33.3%
風俗犯	9	11	3	10	7	-3	-30.0%
その他	119	104	51	45	29	-16	-35.6%

- ・ 凶悪犯・・・殺人、強盗、強制性交等、放火等
- ・ 粗暴犯・・・傷害、暴行、恐喝、脅迫等
- ・ 窃盗犯・・・万引き、自転車盗、侵入窃盗等
- ・ 知能犯・・・ニセ電話詐欺、横領等
- ・ 風俗犯・・・公然わいせつ、賭博等
- ・ その他・・・占有離脱物横領、公務執行妨害等

(2) 刑法犯総検挙人員に占める刑法犯少年の割合（構成比）

構成比は7.6%、前年と比較して0.2ポイント**下降**

刑法犯少年の人口比は1.6人で、成人の人口比1.3人と比べ0.3ポイント高いが、前年と比較して0.1ポイント**下降**

	H28	H29	H30	R1	R2	増減数	
						増減数	増減率
総検挙人員	4,873	4,909	4,237	3,562	3,311	-251	-7.0%
成人	4,209	4,396	3,835	3,284	3,060	-224	-6.8%
刑法犯少年	664	513	402	278	251	-27	-9.7%
構成比	13.6%	10.5%	9.5%	7.8%	7.6%	-0.2P	
成人人口	2,406,074	2,401,376	2,396,035	2,390,282	2,386,218	-4,064	-0.2%
人口比	1.7	1.8	1.6	1.4	1.3	-0.1	
少年人口	169,764	168,631	165,797	162,039	157,886	-4,153	-2.6%
人口比	3.9	3.0	2.4	1.7	1.6	-0.1	

注1：表中の少年人口は、茨城県政策企画部統計課の推計人口（14～19歳）（令和2年人口は10月1日時点のもの）
注2：人口比は、同年齢層人口1,000人当たりにおける検挙人員の割合。

(3) 学職別検挙状況

学職別では、高校生が109人で、刑法犯少年全体の43.4%を占め最多



(4) 再犯者率

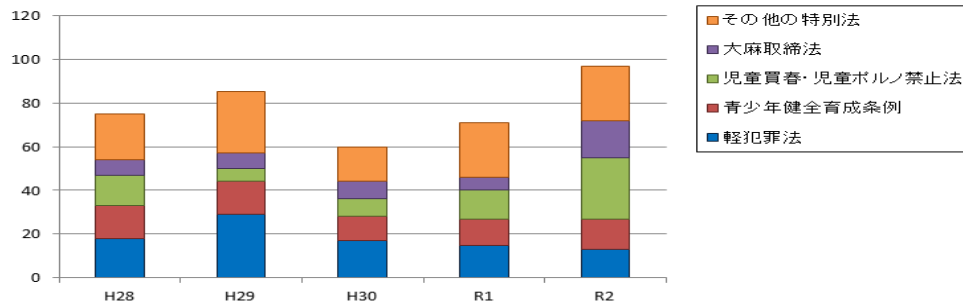
刑法犯少年の30.3%が再犯者、前年と比較して1.2ポイント**上昇**

	H28	H29	H30	R1	R2	増減数	
						増減数	増減率
刑法犯少年	664	513	402	278	251	-27	-9.7%
再犯者	283	195	125	81	76	-5	-6.2%
再犯者率	42.6%	38.0%	31.1%	29.1%	30.3%	1.2P	

3 特別法犯少年

(1) 法令別検挙状況

- 法令別では、児童買春・児童ポルノ禁止法違反の検挙が28人で最多
- 大麻取締法違反は、前年と比較して11人（+183.3%）**増加**



	H28	H29	H30	R1	R2	増減数	
						増減数	増減率
特別法犯少年	75	85	60	71	97	26	36.6%
軽犯罪法	18	29	17	15	13	-2	-13.3%
青少年健全育成条例	15	15	11	12	14	2	16.7%
児童買春・児童ポルノ禁止法	14	6	8	13	28	15	115.4%
大麻取締法	7	7	8	6	17	11	183.3%
その他	21	28	16	25	25	±0	-

※その他（令和2年中）…銃刀法（8人）、迷惑防止条例（6人）、覚醒剤取締法（5人）、入管法（2人）、未成年者飲酒禁止法（2人）、麻薬等特例法（1人）、不正アクセス禁止法（1人）

(2) 薬物事犯

- 薬物事犯の検挙は23人、前年と比較して9人（+64.3%）**増加**
- 大麻取締法違反による検挙が17人（中学生1人、高校生3人、有職少年8人、無職少年5人）、前年と比較して11人**増加**

	H28	H29	H30	R1	R2	増減数	
						増減数	増減率
薬物事犯	13	14	12	14	23	9	64.3%
覚醒剤取締法	6	7	3	5	5	±0	-
大麻取締法	7	7	8	6	17	11	183.3%
その他	0	0	1	3	1	-2	-66.7%

※ その他（令和2年中）・・・麻薬等特例法（1人）

4 福祉犯（少年の福祉を害する犯罪）

(1) 検挙件数・検挙人員・被害少年

- 検挙件数は163件、前年と比較して12件（+7.6%）**増加**
- 検挙人員は136人、前年と比較して9人（+7.1%）**増加**
- 被害少年は120人、前年と比較して10人（+9.1%）**増加**

	H28	H29	H30	R1	R2	増減数	
						増減数	増減率
検挙件数	181	144	179	151	163	12	7.9%
検挙人員	120	118	138	127	136	9	7.1%
被害少年	140	118	128	110	120	10	9.1%

(2) 法令別福祉犯検挙件数・検挙人員・被害少年

- 検挙件数は、児童買春・児童ポルノ禁止法違反の検挙が76件で最多
- 検挙人員は、児童買春・児童ポルノ禁止法違反と青少年健全育成条例違反の検挙がいずれも55人で最多
- 被害少年は、青少年健全育成条例違反にかかる被害が54人で最多

		H28	H29	H30	R1	R2	増減数	
							増減数	増減率
児童買春・児童ポルノ禁止法	検挙件数	82	48	83	75	76	1	1.3%
	検挙人員	40	29	63	58	55	-3	-5.2%
	被害少年	36	21	28	41	37	-4	-9.8%
青少年健全育成条例	検挙件数	59	61	57	54	58	4	7.4%
	検挙人員	54	57	48	46	55	9	19.6%
	被害少年	57	63	55	44	54	10	22.7%
未成年者喫煙禁止法	検挙件数	11	15	11	12	15	3	25.0%
	検挙人員	13	15	12	13	14	1	7.7%
	被害少年	11	14	11	12	14	2	16.7%
その他	検挙件数	29	20	28	10	14	4	40.0%
	検挙人員	13	17	15	10	12	2	20.0%
	被害少年	36	20	34	13	15	2	15.4%

※その他（令和2年中）・・・風営適正化法、児童福祉法、未成年者飲酒禁止法、大麻取締法

(3) SNSに起因する福祉犯被害少年

- SNSに起因して福祉犯被害にあった少年は23人、前年と比較して11人（-32.4%）**減少**
- 福祉犯被害にあった少年の19.2%がSNSに起因

		H28	H29	H30	R1	R2	増減数	
							増減数	増減率
福祉犯被害少年数		140	118	128	110	120	10	9.1%
SNSに起因		33	22	29	34	23	-11	-32.4%
	構成比	23.6%	18.6%	22.7%	30.9%	19.2%	-11.7P	-

・SNSとは、LINE、Twitter、Facebook等の出会い系サイト以外のウェブサイト及びアプリをいう。